OSINT.JP Conference 2026

10月17日（土）15:35　KFC Hall Annex

●●INT

それは果たしてOSINTですか？

――「●●INT」情報源・収集手段の変遷と未来

吉永ケンジ

Seculligence編集長／ハガツサCEO

防衛省・公安調査庁で30年余りHUMINT



問い

これらはすべて「オシント」と呼ばれる



それは果たして、OSINTですか？

定義と違和感

二つの「OSINT」と、三つの違和感

情報活動のOSINT
要求に基づく、計画的な収集

≠

民間の「オシント」
公開情報を使った調査全般

1. 要求も顧客もない収集は、インテリジェンスか
2. 「公開されている」と「買える」は同じか
3. なぜOSINTだけが「秘密でない」という否定形か

Block (2023) Journal of Intelligence History／ODNI & CIA, IC OSINT Strategy 2024–2026

OSINTが公的機関の外に出るまで

「～INT」は秘密の手段の名だった

秘密のINT　買えるINT

- 1941　米　外国放送監視機関（FBIS）
- 1946　米　通信情報委員会（USCIB）
- 1954　英　COMINT・ELINTを公式化
- 1959　米　SIGINTを採用

冷戦期の公開情報

35～95%

使われる情報に占める割合

約1%

予算に占める割合

公開情報は「継子」だった

CIA, FBIS Against the Axis／NSA, Howe／USCIB文書（1954）／Mercado (2005) Studies in Intelligence 49(2)

OSINTが公的機関の外に出るまで

秘密の画像情報が「買える」ものに

秘密のINT　買えるINT

1990	米	「OSINT」が論文に登場
1994	米	商用の高解像度衛星を解禁
1999	米	IKONOSが北朝鮮の発射場を撮影
2000	米	画像公開、民間団体が独自分析

「かつて秘密だったものは、もはや秘密ではなくなる」

米上院議事録（2000年）

Block (2023)／Congressional Record, Senate, S3909 (May 11, 2000)／New York Times (Jan. 11, 2000)／FAS

「～INT」の再整理

他の～INTは「何から」、OSINTだけ「どう」

HUMINT 人から

SIGINT 信号から

IMINT 画像から

情報源・手段の名

OSINT
「秘密でない」から

アクセスの性質の名

「報道・宣伝などの公開放送の傍受は、COMINTに含めない」

米国防総省指令5100.20（1971年）—— 同じ電波でも、宛先が限られていれば傍受

DoD Directive 5100.20 (1971)／Hatfield (2024) IJIC 37(2)／Van Puyvelde & Tabárez Rienzi (2025)

「～INT」の再整理

情報源 × アクセスで整理し直す

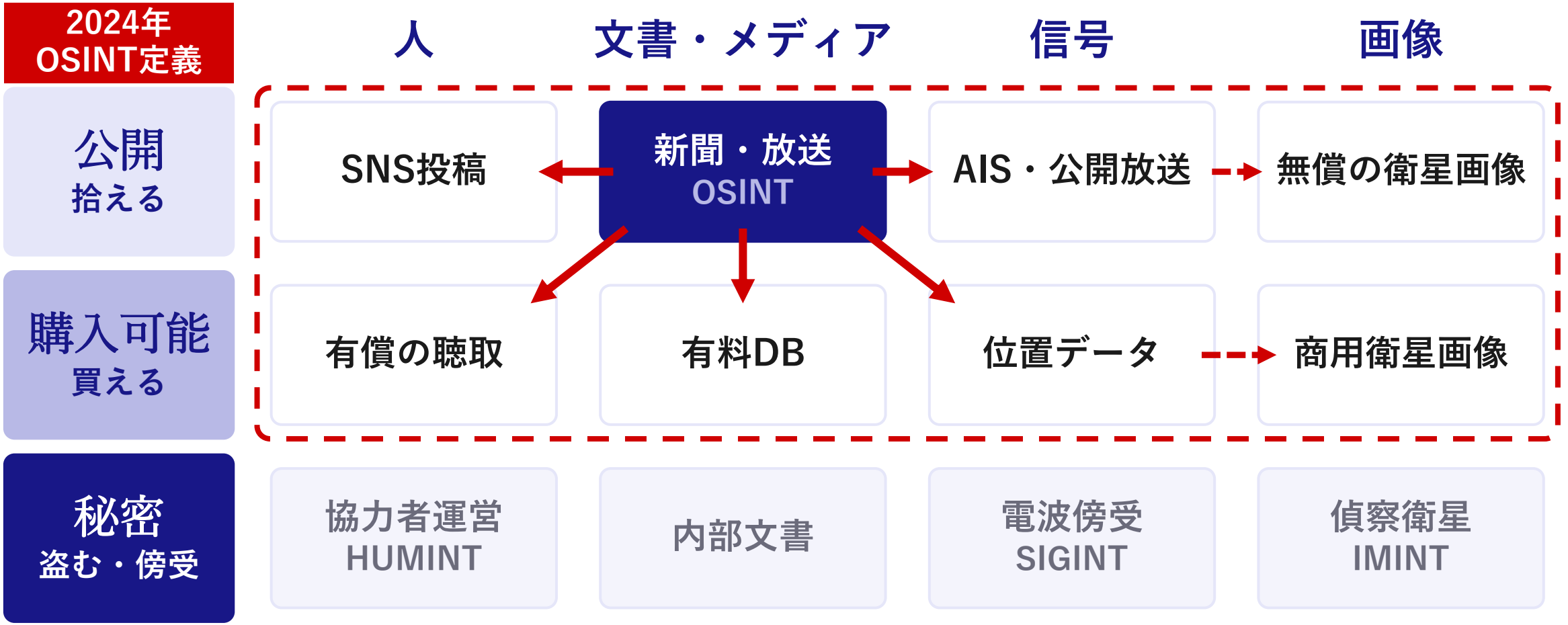
	人	文書・メディア	信号	画像
公開 拾える	SNS投稿	新聞・放送 OSINT	AIS・公開放送	無償の衛星画像
購入可能 買える	有償の聴取	有料DB	位置データ	商用衛星画像
秘密 盗む・傍受	協力者運営 HUMINT	内部文書	電波傍受 SIGINT	偵察衛星 IMINT

DoD Directive 5100.20 (1971)／ODNI Senior Advisory Group, Report on CAI (2022)

Seculligence

「～INT」の再整理

「オシント」は新聞・放送から広がった



ODNI & CIA, IC OSINT Strategy 2024–2026／Block (2023)／Congressional Record S3909 (2000)

Seculligence

「～INT」の再整理

定義は揺れている：広げる・捨てる・分ける

広げる

2024年 米国

公開に加え、
「買える」情報まで

捨てる

Hatfield（2024）

「OSINT」は一貫性を欠く概念。従来の各INTに戻せ

分ける

GEOINT	2003
SOCMINT	2012
市民のSIGINT	2017
CYBINT	議論中

本講演の立場　情報源×アクセスで位置づけ、「要求」で判定する

ODNI & CIA (2024)／Hatfield (2024) IJIC 37(2)／Omand et al. (2012) INS 27(6)／RAND (2017)／Austin (2025) CCDCOE

Seculligence

「～INT」の再整理

どのマスでも、インテリジェンスにするのは「要求」

要求に基づく、計画的な収集 → インテリジェンス
どのマスでも～INTになる

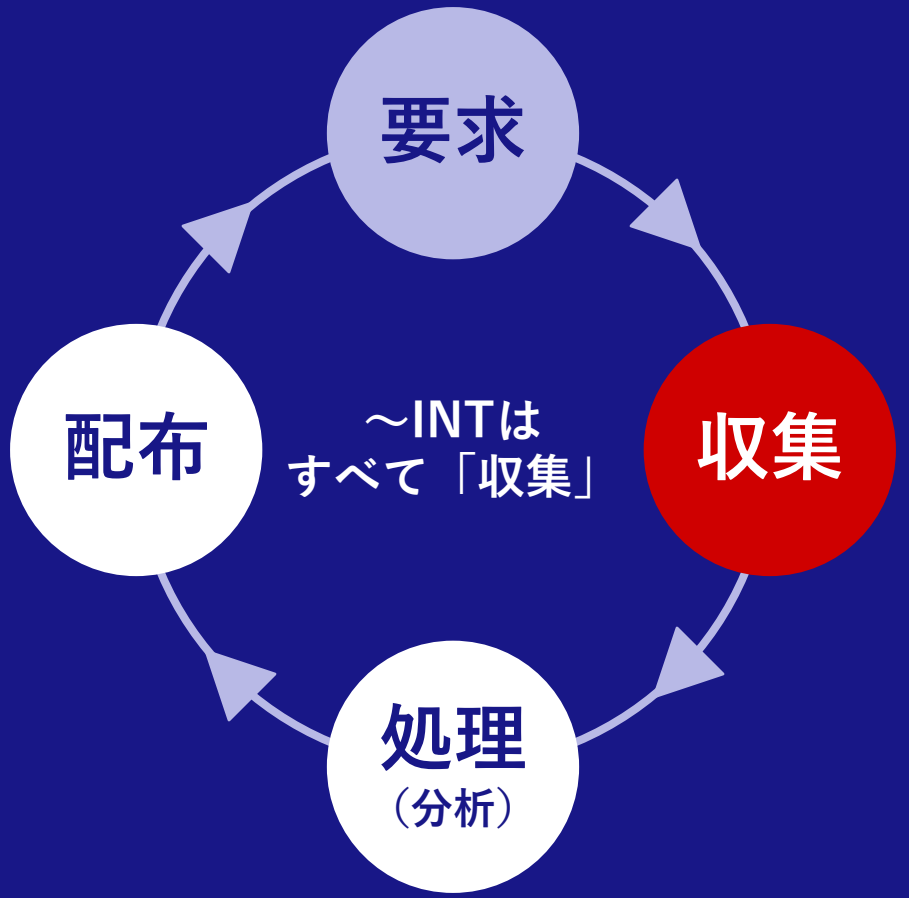
関心のおもむくままの収集 → 情報（information）
どのマスでもOSINTではない

一つの要求が、表の複数のマスをつなぐ
―― 北朝鮮分析の実例へ

Block (2023)／Van Puyvelde & Tabárez Rienzi (2025)／NDAA FY2006 § 931

要求

北朝鮮は火星砲-11
（KN-23）を
ロシアに海上輸送している。
そのルートを探れ



OSINTもHUMINTもIMINTも、サイクル「収集」の手段

経済安全保障ニュースポータル Seculligence

実例：北朝鮮分析①

要求 前提 OSINT HUMINT IMINT OSINT 処理・配布 要求

前提知識

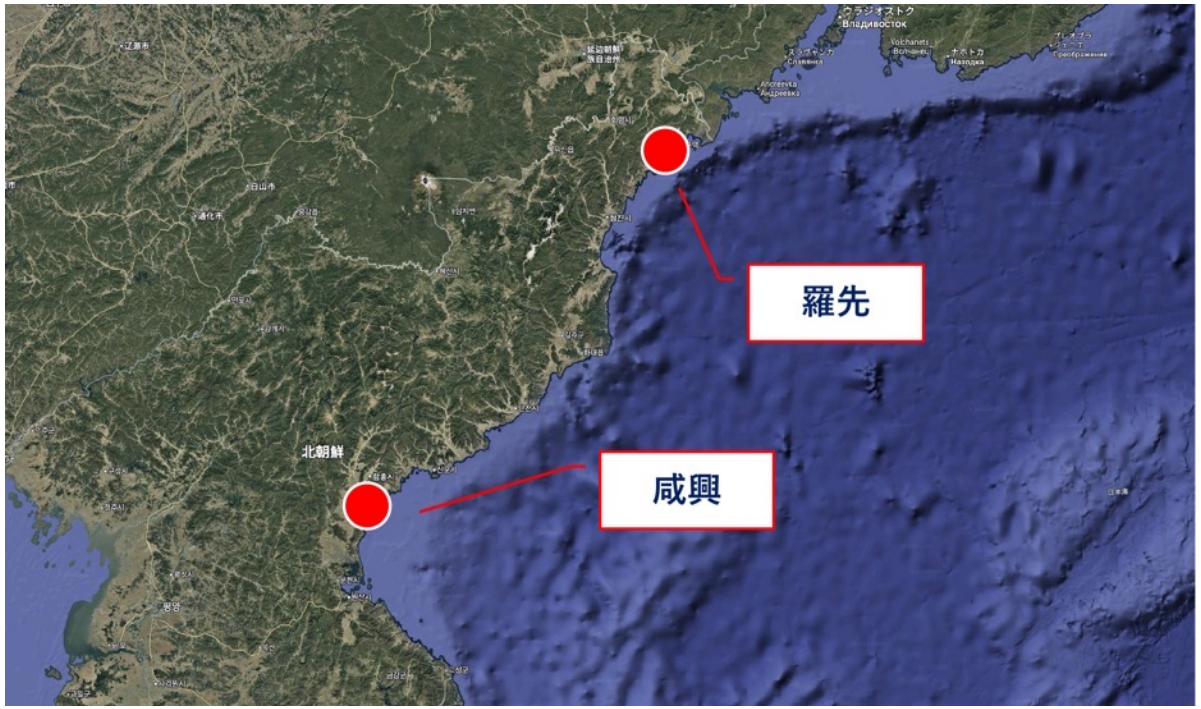
咸興

KN-23の製造工場が所在

羅先

ロシアの弾薬輸送艦船が入港

（関連情報）



Seculligence

実例：北朝鮮分析①

OSINT（収集）

要求 前提 **OSINT** HUMINT IMINT OSINT 処理・配布 要求

文書・メディア × 公開

KCNAなど北朝鮮の公式メディア	関連情報なし
ロシアの報道	関連情報なし
韓国の報道	関連情報なし

公開の文書・報道だけでは、ルートは見えない

Seculligence

実例：北朝鮮分析①

HUMINT（収集）

要求 前提 OSINT **HUMINT** IMINT OSINT 処理・配布 要求

人 × 秘密

情報源の秘密情報（雄尚）

- KN-23と弾薬を羅津港から雄尚港へ海上輸送
- 雄尚駅からハサン経由でロシアへ鉄道輸送
- 弾薬はコロナ禍に建設された倉庫で保管



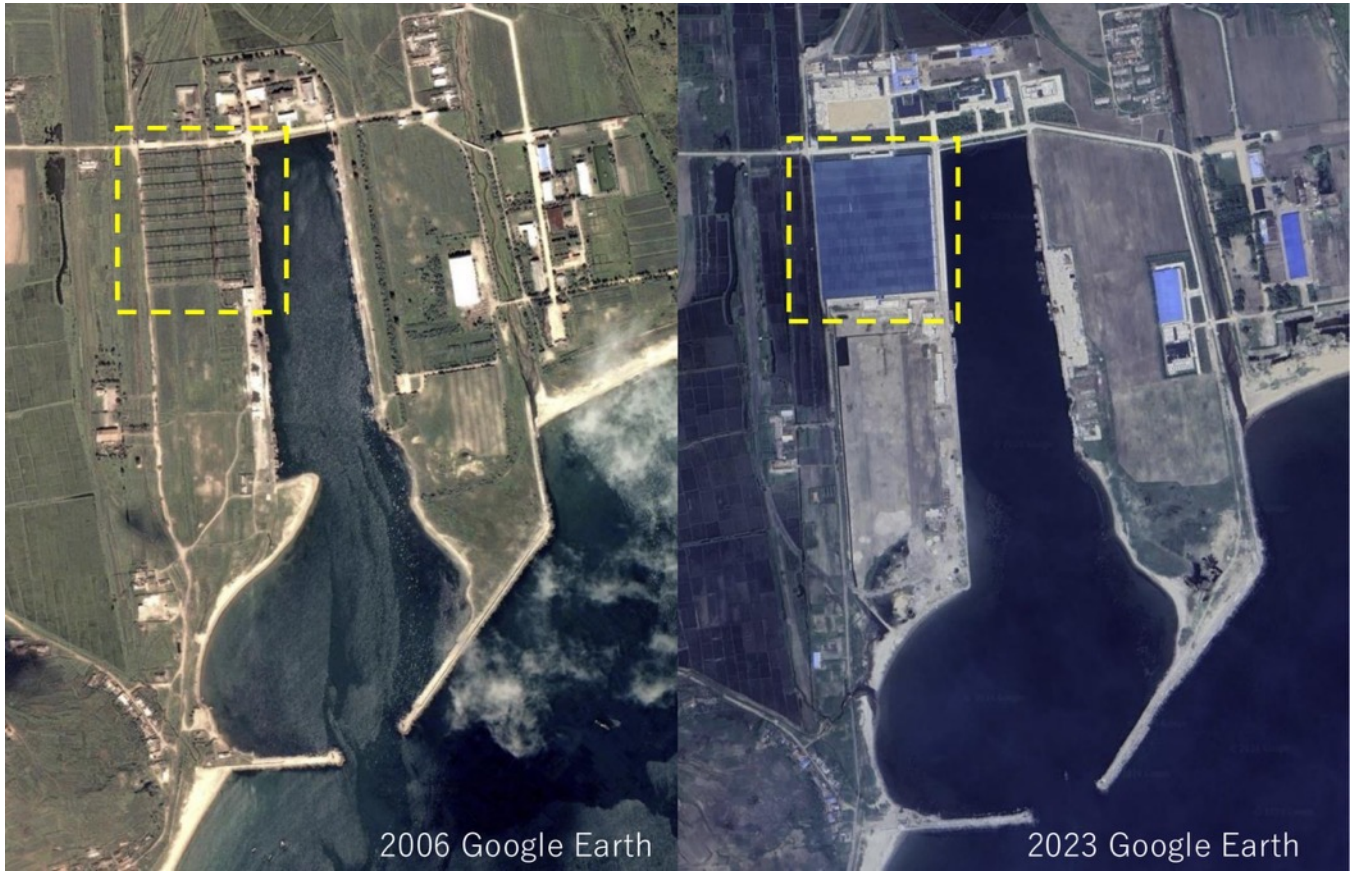
Seculligence

実例：北朝鮮分析①

IMINT（収集）

要求 前提 OSINT HUMINT **IMINT** OSINT 処理・配布 要求

画像 × 買える（商用衛星画像）



2006～ 建屋の骨組みが存在

2020 屋根を設置（改修）

岸壁 一部のみ、大型船不可

設備 ガントリークレーンなし

場所に不釣り合いな陸上施設

Seculligence

実例：北朝鮮分析①

要求 前提 OSINT HUMINT IMINT **OSINT** 処理・配布 要求

改めてOSINT（収集）

文書・メディア × 公開（地域研究の成果）

ERINA REPORT（2011年）羅先訪問記

- もとは日本軍の軍港。水深4～5m
- ソ連から輸入した木材・石炭を内航船に積み替え
- 木材の野積場を含め敷地が広い

不明建築物＝木材の「バルクハンドリング設備」と判明

写真11　雄尚港の野積場の跡地



Seculligence

実例：北朝鮮分析①



処理（分析）・配布

information → intelligence

輸送手段

雄尚港へは小型の内航船のみ可（クレーン付、クレーン船同行）

倉庫

野積場のバルクハンドリング設備を活用し、2020年中に倉庫を建設

中継地

同倉庫が弾薬輸送の中継地である可能性

拡充

セメント工場の設置から、港湾などインフラ拡充の可能性

Seculligence

実例：北朝鮮分析①

要求 前提 OSINT HUMINT IMINT OSINT 処理・配布 **要求**

今後の収集計画（新たな要求）

何が分かっていないか（情報主要素：EEI）

- 雄尚港への小型船の出入港
- 雄尚駅への貨物列車の入構
- 倉庫周辺の車両の稼働
- クレーン・デリックの新設

AIS 信号 × 公開
船舶の位置。ただしoffの可能性大

IMINT 画像 × 買える
衛星画像で航跡を追う

SOCMINT → GEOINT 人 × 公開
ロシア船員の投稿から位置を特定

Seculligence

実例：北朝鮮分析①

一つの要求から、秘密と公開を往復する

	人	文書・メディア	信号	画像
公開 拾える	SNS投稿 ⑤	新聞・放送 OSINT ①④	AIS・公開放送 ⑤	無償の衛星画像
購入可能 買える	有償の聴取	有料DB	位置データ	商用衛星画像 ③⑤
秘密 盗む・傍受	協力者運営 HUMINT ②	内部文書	電波傍受 SIGINT	偵察衛星 IMINT

①OSINT　②HUMINT　③IMINT　④地域研究　⑤今後の収集（点線）

Seculligence

実例：北朝鮮分析②

見たものが、すべてではない

報道 ≒ HUMINT の誤読

報道

平壌で黄色ナンバー急増＝経済発展？

訪問者の目撃・証言が中心

▼

突き合わせ

- 登録制度
- 改正道路交通法
- 中国の貿易統計

▼

経済発展ではなく、
私有車とカネを制度に取り込む動き





記事はこちら

まとめ

OSINTとオシントは、似て非ざるもの

	OSINT　情報活動の収集手段	オシント　民間での呼び名
起点	要求	関心
位置	サイクル「収集」の一手段	収集・発信で完結しがち
他のINT	秘密の情報と突き合わせる	公開・購入可能の範囲内
成果	インテリジェンス	情報（information）

「それは果たしてOSINTですか」
どのマスの情報か、どの要求に応えているか

Block (2023)／Van Puyvelde & Tabárez Rienzi (2025)／Hatfield (2024)／ODNI & CIA (2024)

まとめ

OSINTを使う・発信するために

1

OSINTとオシントの違いを理解する

違いは「要求」の有無と、情報源×アクセスのどこに位置するか

2

OSINTは万能薬ではない

国家の情報機関は今も秘密情報を重視。広がったのは民間から「見える範囲」

3

一つのマスで完結させない

見たもの・報道は、他の情報源と突き合わせて初めて使える

4

情報戦を前提に、オシント発信は実名で

安全保障の情報は生死に関わる。実名なら出典と責任が明確で検証可能

ハガツサ HAGAZUSSA

「伝える」だけでなく、「伝わる」をお手伝いします。

安全保障の知見と編集・制作の力を一体で提供する、Seculligenceの運営会社

コンサルティング
防衛・セキュリティ
経済安全保障の脅威分析・デューデリジェンス、防衛産業への参入・連携支援、インテリジェンス・防諜の研修・講演

コンサルティング
PR・ブランディング
各メディアでの制作経験を生かし、企業・自治体の広報戦略、情報発信のためのWebページ制作、メディアリレーションを支援

メディア制作
編集・執筆・出版
雑誌、書籍、Webメディア、企業のオウンドメディアや広報誌のディレクションを受託。出版レーベル「Hagazussa Books」も運営

ご相談・お問い合わせ

hagazussa.jp/contact

経済安全保障の脅威分析、防衛産業への参入支援、インテリジェンス・防諜の研修・講演のご依頼など

主な取引先　日鉄ソリューションズ、PwCコンサルティング、東京電力ホールディングス、ソニー

株式会社ハガツサ　〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-10-7-305　hagazussa.jp

経済安全保障ニュースポータル セキュリジェンス Seculligence

経済安全保障ニュースポータル
seculligence.com

ニュース&トピックス
情報戦、スパイ、サイバーなど既存メディアが追いきれない領域を、専門家が深掘り

特集
編集長コラム「ケンジの眼」、「薗田浩毅の中国深層レポート」を連載

YouTube
ニュース解説、有識者との対談、防衛装備品展示会の現地取材

執筆陣　情報機関・自衛隊の実務経験者を中心に

吉永ケンジ　編集長／元防衛省・公安調査庁
薗田浩毅　アナリスト／元1等空佐・防衛省情報本部
元防衛省情報本部 主任分析官／元防衛駐在官
宇宙分野の専門家　ほか

お問い合わせ
seculligence.com/contact